

俳句新聞

はいくしんぶん 2022年 3月号

＊俳句とは十七音で出来た、世界で一番短い詩の形式です。

皆さんこんにちは。2月になりましたね。俳句コンクール担当の、ゆうこです。

又シャさんとユキさんと一緒に俳句コンクールを作っています。いよいよ応募期間がはじまります。

今年もコンクールのへ応募は作った俳句を書いて、図書館においてある箱に入れるか、メールで送ってください。

メールはこちらに送ってください！ 3月7日から4月7日までです。

aafj.haiku@gmail.com

●応募してくれた人には、一人一枚ずつ「お菓子引換券」（おかしひきかえけん）をメールで送りますので、図書館の箱から応募する人は、必ずメールアドレスか、電話番号を書いておいてください。それを図書館に持ってくれば、お菓子と交換できます。

また、自分の作った句をみてほしい時は、コモ先生（書家で俳句にもくわしい先生）に相談できます。とても親切に教えてくれますよ！ もちろんフランス語で質問してもだいじょうぶです。

「コモ先生に、いきなりメールを送るのはこわい、、」という人は、私の方に送ってもらえば、コモ先生にとどけます。

haiku-como@mirai-association.fr （コモ先生のメールアドレス）

2月号では、俳句を書くって、どういつことなのか？を、コモ先生にインタビューしてきましたよ。
俳句を書くときにとっても役立つので、みんな読んでね。

まずはルールの復習です。（詳しくはこちらでみて下さい）→ <https://aafjculture.weebly.com/>

俳句のルールは2つだけ。②は少しなら、ずれてもいいことになっています。

①「季語」（きご）と言う季節をあらわす言葉を入れる。②五音、七音、五音のリズムにのせる。

かんたんですね！だれでもすぐに作れそう。俳句って、世界で一番短い詩のかたちなんですよ。知ってた？



又シャさん



ユキさん



ゆうこ

コモ先生、独占インタビュー!!!

今回はコモ先生に来ていただいたので、もう少しくわしく、俳句について聞いてみたいと思います！
コモ先生こんにちは。今日は先生に俳句についての質問があるんです。

ゆうこさん、こんにちは。質問って何かな？

俳句が上手になるにはどうしたらいいのかおしえてください！

上手に書こうとしたら、もう、いい句は書けないんだよ。

えー！ 意味がわかりません。いい句って、上手な句と、どちらがうんですか？

上手、っていうのはキレイにまとまってるってこと、いい、っていうのは、書いた人の心を感じるってことだよ。

心?? 気持ちとかってことかな？ 楽しいとか？ つまんないとか？

まあ、まちがってはいいけど、もっと心が強く動かされること、

このことを忘れたくない、もっとだれかに伝えたい、と思うような心に残る一瞬があるんじゃない？

そんなすごいことあるかなあ。。。？

すごいことを書きなさいっていう意味じゃないんだよ。たとえばこの句を読んでみて。

この句は僕がとても好きな句なんだよ。ちょうど今の季節の句だね。

人も犬も春一番にまつ毛ふせ (ひともしぬも はるいちばんに まつげふせ)



コモ先生



へー。なんか面白い。漢字もかんたんなのばかり。それにすごいことは特に起こってないですね。

春一番って、春が来る時にふく風のことでしょう？ちよつとホコリっぽい、なまあったかい風。

だから春が来てうれしいような、ホコリぽくって目がチクチクするような、でも花の香りもするな、とか

新しいクラス（日本では4月から新学期が始まるから）で友達できるかな、とか、

色々なことがのっかってるような風ですよ。犬もちよつとウキウキしてるかもね。

でもホコリが目に入らないようにみんないっせいに目を閉じるというのが面白いし、楽しいふんい気も感じますね。

そう、そんなにたくさんさんのことを短い言葉の中に感じさせてくれる、それが俳句なんだ。

俳句でも和歌でも現代詩でも、詩ってというのは、一瞬を封じ込める芸術だと思っただよね。

あー！ だから、これを読んだ時、その場面が見えてきそうな気がしたのかな？

それなんだよ！

その場面が見えてきそつな気がするっていうのは、その一瞬が、そこにギュツとつまってるから。

その一瞬っていうのは、自分の心が動いた一瞬なんだ。自分の心が動かなかったら、

風が吹いた、ってことはなんの意味も持たないことなんだけど。

心が動いた、ってことで、それが美しくも楽しくも忘れがたくなつて、

他の人の心も動かすような力を持つ言葉になる。

心かー。でも、何か思ってもすぐ忘れちゃうんですねー。

美しさや喜びや感動は、特別なことじゃなくて、

いつも身の回りにあふれてるってことに気づくところから、俳句を書くことがはじまるよ。



そうかー。ぼーつとしてると、ご飯の味もあんまり感じないよね。それってちよつと損してるよね。だからつまり、すごいことを見つけて書くんじゃないかって、

ちよつとした事でもすごく感動できるような心を持てばいい俳句が書けるかもってことですか？





そう、自分の感じることにいつも敏感でいることは、

自分の生きているそれぞれの一瞬に真剣に向き合うことにもなるね。

ご飯の味もよくわかるし、

目に入る景色にも美しさや意味を感じたり、

聞こえてくる音にふっと何かを思い出して泣きたくなることもあるかもしれない。

生きている時間がすべて、生き生きとあざやかになっていくよ。

「生きている」ってことが俳句にギュッとつまつてると、

何かを伝えることのできるいい俳句になっていく。

生き生きしてるのがいい俳句かー。魚みたいね。



インタビューの始めにぼくが言った、

「上手に書こうとしたら、もう、いい句は書けない」っていう意味が少しわかったかな？

上手に書こうとすると、生きている心が遠ざかって、

生きのいい魚ではなくて、プラスチックでできた魚のようになってしまう。



はい、さっきよりは、わかってきました！ 自分の心の動きをいつも忘れないようにするってことですね？



そうだね。何かを作る、ということとは、どんな時でも、自分の心が動く所から始まるよ。

何もないように見えるところから、心が動くことによって、何かが生まれる。その



一瞬の残像をできるだけシンプルな言葉で写しとる芸術が俳句、だと思う。



「モ先生、ありがとうございました!!